

事業所名

児童発達支援 アンダンテ・サポート スマイル

作成日：令和 7年 3月 9日

<b>法人（事業所）理念</b>		共に寄り添って歩んでいこう！一人ひとりの笑顔のために		
<b>支援方針</b>		元氣いっぱい…… 様々な経験、体験を通して感受性豊かな元氣な子どもを育てます 楽しさいっぱい…… 指導員やお友達と楽しく活動できる環境づくりに努めます 笑顔いっぱい…… 保護者様も安心して預けられ、大人も子どももみんな笑顔になる療育を目指します		
<b>営業時間</b>		8時30分から17時30分	<b>送迎実施の有無</b>	○あり なし (送迎については要相談)
<b>支 援 内 容</b>				
<b>本人支援</b>	<b>健康・生活</b>	子どもたちが楽しい時間を過ごし、通所することに対して目的意識を持って生活リズムを把握できるようにしていきます。食事や排泄、衣類の着脱など健康的に生活を送るための支援を行います。子どもたちが自ら進んで行えるよう、特性の現状に合わせた支援を行います。		
	<b>運動・感覚</b>	姿勢保持や筋力の維持強化を図ります。運動や動作が困難な場合、身体移動の補助等を行い、日常生活に必要な基本的技能の向上のための支援を行います。リズム遊びや製作、感覚遊びなどを通して視覚、聴覚、触覚に関する支援を行います。		
	<b>認知・行動</b>	その日の活動については、視覚的にも示しながら子どもたちに分かりやすく説明します。また、活動の「始まり」と「終わり」が分かりやすいようにタイムタイマー等も使用し、「おしまい」の合図を決めることで時間管理の支援を行います。発達状況に応じて、時計の読み取りも進めていきます。読み聞かせの時間を多く設け、言語能力や読解力、想像力、共通感、集中力などの発達を促していきます。机上課題を通して、集中して課題に取り組む時間を増やしていきます。		
	<b>言語コミュニケーション</b>	自分なりの伝え方で、自分の考えや思いが伝えられるように支援していきます。また、不適切な言葉や表現方法に対しては、子どもたちが理解できる方法で時間をかけて支援していきます。		
	<b>人間関係社会性</b>	子どもの気持ちが不安定になったり友達との関係がうまくいかないときは、本児が気持ちが落ち着く環境を作り、近くで寄り添いながら解決方法を考え、安心して過ごせる場作りのための支援を行います。模倣（まね）から遊び（ごっこ遊び）へ、一人遊びから共同遊びへと移行することにより、役割やルールなどの社会生活に必要な発達支援を行います。		
<b>家族支援</b>		<u>子供の成長に合わせた支援（家族支援）</u> 定期的に面談を行い、お子様の家庭での様子や学校での様子を伺います。お子さまの発達状況や課題を見極めたうえで、指導の方針や内容を考えていきます。	<b>移行支援</b>	<u>家庭・地域との連携した、発達環境づくり（地域支援）</u> お子様が集団の中でも自分の力を発揮できるよう、学校との情報共有や療育アドバイスなど、保護者さまの希望に応じて連携を図りながら発達のサポートをさせていただきます。
<b>地域支援・地域連携</b>		地域が開催するイベントへの参加（子ども食堂等）、地域事業所や施設との交流 学校や園からの相談や共有があれば療育的視点での提案や助言を行います。	<b>職員の質の向上</b>	発達特性と支援の手立てについて研修等で学び専門性を高めていきます。 支援の中での気づきや変化は職員間で共有し、事例検討会の事例提供など研修会への参加も積極的に行っていきます。
<b>主な行事等</b>		季節の行事（初詣、節分、遠足、ひな祭り、七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など） クッキング、動物園見学、博物館見学、子ども文化会館、児童館利用、プール活動、買い物学習 避難訓練（合同訓練、防災センター見学、その他避難場所の確認や避難方法、地域の消防署との連携訓練）		